

調査研修報告書(議員用)

報告者：横路政之

実施場所：兵庫県朝来市	実施日：平成27年9月5日
■目的・課題・問題事項(調査・研修に先立っての思いや本市の現状 など) ・地域包括支援システムの構築において全国から視察が来ている朝来市の取り組みを学び、本市に欠けている部分を学ぶため。	
■参考とすべき事項 ・朝来市には、平成18年から、地域包括支援センターと居宅介護支援事業所の「主任ケアマネジャー」が協力して取り組んできた「ケアマネジメントシステム」がある。部下や後輩たちが、自立支援に向けたケアマネジメントが出来るよう、その支援体制を地域の仕組みとして整えてきた。現在は、その仕組みを「地域ケア会議」の一つとして組み込みながら、地域包括ケアシステムの構築をめざしている。 ・朝来市では、「向う三軒両隣会議」など利用者支援と、「ケアマネジメント支援会議」のケアマネ支援を分けて行っている。 ・包括システムに向けて、1.「ビジョンとデザイン図」2.「地域課題の抽出と可視化」3.「資源開発・政策形成」の順に、全体の構成がうまくまとまっている。	
■提言・その他(本市の施策等にどのように活用すべきか など) ・当日の内容は、ケアマネジャー向けの専門性の濃い内容であったが、朝来市は、バラバラであった会議の機能を明確にしている。一つの会議にあれもこれもと機能を沢山盛り込まないなど、それぞれの機能をシンプルに整理し、さらにそれをだれもが理解できるように可視化して情報の共有化を図っている。その作業を担っているのは、足立主任ケアマネジャーさんである。本市においてこの部分は現段階では担当課が担わざるを得ない。当日は担当課も参加されていたが、共に議論し現場を調査しながら、庄原市独自の包括システム構築に向けて尽力してまいりたい。	